

東京電力(株)福島第一原子力発電所における
中長期措置検討専門部会構成員からの提出資料

平成23年8月31日 田中 知

研究開発、技術開発について（意見）

1. ロードマップに則りつつ、研究開発項目にプライオリティーを付けることが重要。
2. 高線量下での作業などによって作業効率が悪いものが多い、除染に努めるとともに、適用技術や研究開発に柔軟性を持たせることも重要。
3. 汚染水の存在が大きな障害となっている。除染とともに汚染水の体積を総合的に減少させる対策が必要。
4. 効果的な研究開発体制を早期に確立することが必要。
5. 施設やサイト内での放射性物質の種類、量などのデータを並行して取ることが事故時の放射性物質の挙動解明から極めて重要。

（以上）